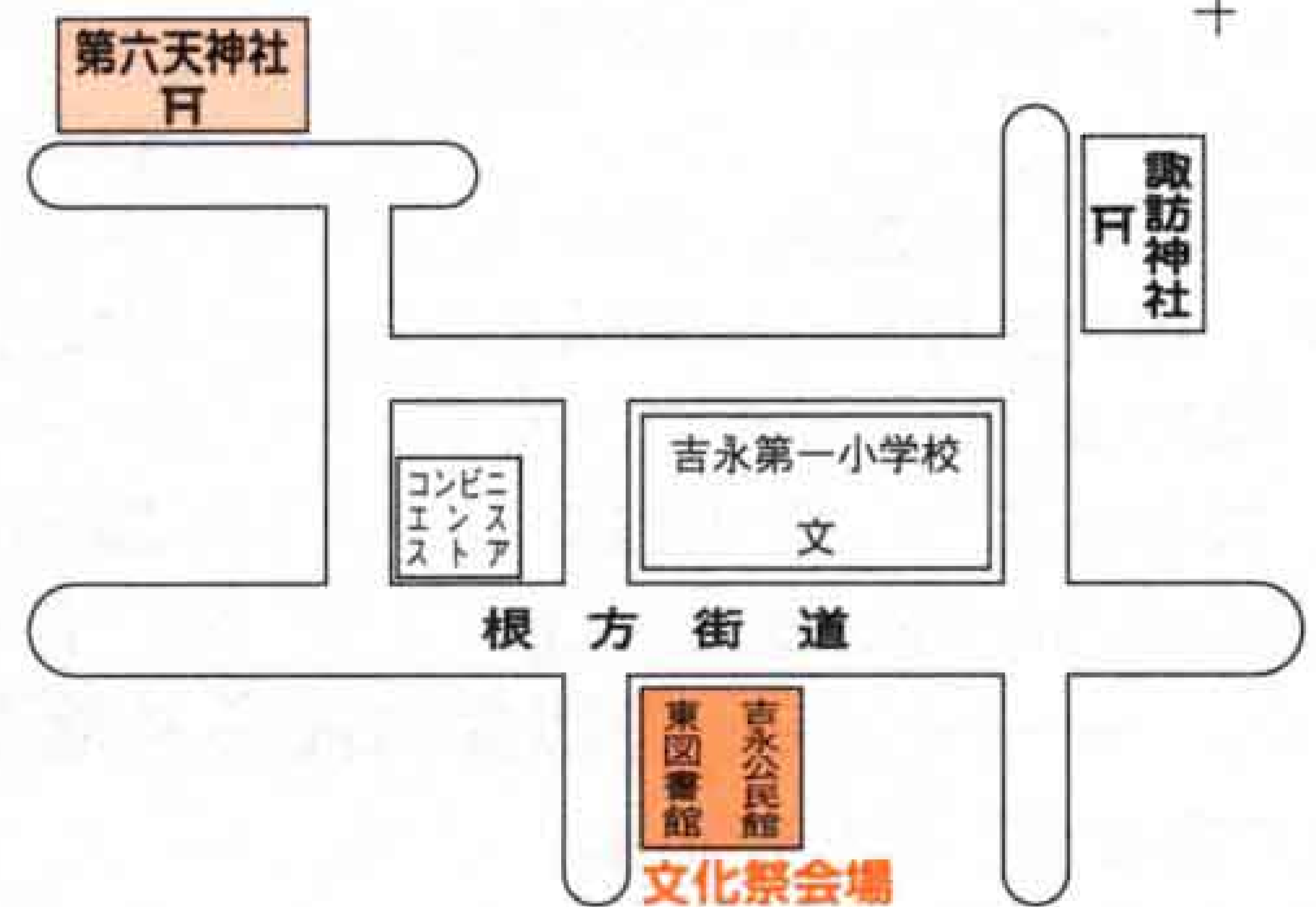


だい ろく てん だい こ
第六天太鼓



第6回

4



吉永地区文化祭 10月28日(日)

毎年、秋が深まる十月中旬の秋祭り(お日待)の日になると、東比奈三丁目にある第六天神社のかいわいでは、「第六天太鼓」の音が響き渡ります。

この第六天太鼓は、古くから第六天神社に伝えられている太鼓で、町内の祭りには欠かせないものでした。しかし、戦後数十年が経過し、太鼓をたたける人がだんだん少なくなっていました。このままでは、「伝統ある第六天太鼓が途切れてしまふ」と危機感を抱いた地元有志の呼びかけにより、地域の活性化、住民同士のふれあい、青少年健全育成を目標として、昭和六十二年七月に『第六天太鼓保存会』が発足しました。

古くから伝わる、かけ声もろとも響き渡る勇ましい太鼓の曲のほかに、かぐや姫をイメージした創作太鼓を新たに加え、かぐや姫伝説のロマンを伝えていきます。主な活動として、天王さんや秋祭りなど町内の祭りはもちろん、富士まつり、姫名の里まつり、吉永地区文化祭など多くの行事に積極的に参加し、その勇壮なばちさばきを披露しています。



第六天太鼓保存会会長
 清水 怜さん (比奈)

第六天太鼓保存会では、発足当時から、地元文化を若い世代にも理解してもらおうと、吉原東中学校の生徒に太鼓を教えています。現在では、太鼓を習った卒業生たちが、『錬成太鼓』という保存会の弟分に当たる会をつくり、活動するようになりました。

また、昨年からは女性だけの太鼓グループで保存会の妹分に当たる『姫名太鼓』も発足し、活動を開始しました。

これで、年代、性別を超えた交流を図ることができるようになり、本当にうれしく思います。

第六天太鼓を通じて生まれたこの太鼓の輪が、いつまでも続くよう、保存会の二十五人の仲間たちと一緒に、これからも頑張っていきたいですね。

こちら編集部

高齢社会、高度情報化社会の波に対応すべく、今号から広報ふじに2つ変化がありました。

1つ目は、暮らしのたよりの文字が一回り大きくなりました。全体の文字数は減りましたが、内容はますます充実しています。

2つ目は、新記号「E、H」の登場です。EはEメール、Hはホームページの略です。インターネットになじみのない人もまだまだ多いと思いますが、これを契機にIT講習(広報ふじ9月20日号参照)を受けてみてはいかがでしょうか。

人口 241,534人 (前月比+200)
 男 120,267人 (+72)
 女 121,267人 (+128)
 世帯 82,376世帯 (+153) 9月1日現在
 編集・発行 富士市総務部広報広聴課
 〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
 ☎51-0123(代) ☎51-1456

